

TOPICS

令和3年5月6日

真心の園開設52周年記念式典及び永年勤続職員表彰式が行われました。

真心の園は、令和3年5月1日に開設52周年を迎え、多目的ホールで記念式典を行いました。また、20年と10年の勤続者が表彰され賞状と記念品が送られました。

<20年勤続表彰者>

稲吉由美子さん（真心の園介護員）平成13年4月1日入職
堀江真紀さん（真心の園介護員）平成13年4月1日入職
山川美保子さん（真心の園介護員）平成13年4月1日入職

<10年勤続表彰者>

古賀典子さん（真心の園介護員）平成23年4月1日入職
白木政道さん（真心の園介護員）平成23年4月1日入職



令和3年5月17日

真心の園の入所者様への新型コロナウイルスワクチン接種が始まりました。

当施設は入所者様の数が多いため、3つのグループに分けて接種を行いました。今回の接種では特に体調不良者もなく、スムーズに接種が完了いたしました。協力医療機関である「まごころ医療館」の先生、担当看護師の皆様、ありがとうございました。



令和3年8月

社会福祉法人椎原寿恵会の社章（ピンバッジ）ができました。

デザインは、中央に椎原寿恵会のロゴマークを据え、周りを法人の理念を表す3つの色で囲いました。中央は共生のライトグリーン、左は奉仕のライトイエロー、右は拓生のライトブルーを表しています。



社会福祉法人椎原寿恵会 施設事業所



佐賀事業部

鳥栖市

鹿児島事業部

南さつま市



詳しくは
ホームページを
ご覧ください！

佐賀事業部

- 特別養護老人ホーム真心の園
- 真心の園ショートステイ
- 真心の園在宅サービス事業（デイサービス・ホームヘルパー・訪問入浴サービス）
- 真心の園訪問看護ステーション
- 真心の園給食サービス事業
- ケアハウス花みず木
- グループホーム和が家
- グループホームみどりヶ丘
- 住宅型有料老人ホーム グランドハウスまごころ
- みどりヶ丘保育園
- まごころ保育園
- 鳥栖市鳥栖西地区地域包括支援センター
- 鳥栖市中央デイサービスセンター（居宅介護支援事業、デイサービス、ホームヘルパー）

● 佐賀事業部

（本部 特別養護老人ホーム真心の園内）

〒841-0072 佐賀県鳥栖市村田町1250番地1
TEL0942-82-2405 FAX0942-83-9239

鹿児島事業部

- かせだフレンドホーム
- ケアハウスかせだ
- グループホーム金峰やすらぎ館
- グループホーム椎原館
- グループホーム有馬館
- デイサービス金峰やすらぎ館
- デイサービス遊達（ゆうあい）
- 相談支援事業所 彩（いろどり）
- 住宅型有料老人ホーム クオーレかせだ
- ほほえみホームヘルパーステーション
- 有料老人ホーム セレーノ
- デイサービス有馬

● 鹿児島事業部

（本部 ケアハウスかせだ内）

〒897-0004 鹿児島県南さつま市加世田内山田2510番地
TEL0993-53-7739 FAX0993-53-7759

椎原寿恵会ニュースレター



まごころ だより



まごころが通い合う
福祉・医療・教育を実践するまごころグループ

夏号

令和3年8月発行



社会福祉法人 椎原寿恵会
<https://magokoro.or.jp>



社会福祉法人
椎原寿恵会

お知らせ

社会福祉法人椎原寿恵会は、令和3年6月27日付で理事長が交代いたしました。長年、法人の社会福祉事業を率いてきました中川原三和子理事長と久保健太副理事長は退任し、新しい理事長には中川原章が就任しました。なお、中川原三和子前理事長は当法人の会長に就任しました。

ごあいさつ

新理事長に就任して

本年7月より、(社福)椎原寿恵会 中川原三和子前理事長の後を継いで、新理事長に就任致しました。

椎原寿恵会の最初の施設である特別養護老人ホーム(特養)「真心の園」は、昭和44年に開設され、今年で52年目になります。当時未亡人であった母寿恵子は、毎夜辛い涙を流しながら、それでもやがて佐賀県にも大変な高齢者社会が来ると、県で初めての特養を設立しました。残念ながら、母は、創立10周年記念式典を目前にして他界しましたが、その後を継いだ三和子理事長の40年間は驚くべき飛躍の時期となりました。今後は当法人の会長として支えていただきます。

ところで、平成20年6月に寿恵会と椎原会が合併して出来た椎原寿恵会は、現在では、佐賀事業部と鹿児島事業部を合わせて26の事業所(高齢者施設、障害者施設、保育施設、その他の事業)があり、総職員数430名の大規模法人となっています。

理事長就任後、真心の園で最初の回診を行いました。そこで感じたのは、私がかつて50年前の開設当初に回診していた時とは大きく違っていたことでした。入居者の平均年齢は約10歳上昇し、要介護度が著しく高くなっていること、職員に若い人が多く資格を有したプロが多いこと(かつては地元からの寮母さんがほとんどでした)、しかし、絶対的な人材不足に悩んでいること等、時代が大きく変化し、新たな多くの課題に直面していることを改めて痛感しました。

これからは、わが国が直面する世界に例を見ない少子化と超高齢化社会がもたらす2025年問題、2040年問題に真正面から向き合い、高齢化する障害者の問題や少子化時代の保育所のあり方なども含め、現場の皆さんとよく理解しあいながら、問題解決の道を共有していきたいと思えます。

椎原寿恵会の理念である「共生、奉仕、拓生」をしっかり引き継ぎ、職員の皆さんと一緒に、新しい時代を切り拓いていきたいと思っています。

どうぞ、よろしくお願い致します。

社会福祉法人椎原寿恵会
理事長 中川原 章



経歴

- 昭和22年4月 佐賀県鳥栖市生まれ
- 昭和47年5月 九州大学医学部卒業
- 昭和55年5月 米国ロックフェラー大学留学
- 平成 2年9月 米国ワシントン大学小児血液腫瘍科
- 平成 5年9月 米国ペンシルバニア大学・フィラデルフィア小児病院
- 平成21年4月 千葉県がんセンター センター長
- 平成26年4月 佐賀県医療センター好生館 理事長(H30. 3月任期満了)
- 平成27年6月 佐賀国際重粒子線がん治療財団(サガハイマツト) 理事長
- 令和 3年7月 社会福祉法人椎原寿恵会 理事長



退任のごあいさつ

昭和52年の年末、大学卒業前の気忙しい時期に、私は主人の運転する車に乗り、初めて真心の園を訪れました。途中、高速道路でパンクするというアクシデントに見舞われ、鳥栖インター出口でパンクしたタイヤ交換をして、ようやく真心の園に到着しました。

初めての特別養護老人ホームは、まだ8人部屋のパイプベッドで、多くの寝たきりの方々にお会いしました。それまで、父の外科病棟や大学病院しか知らなかった私は大変な衝撃を受けました。その後、私自身が高齢者介護の道に入るなど、その時は思いもよらないことでした。

当時、主人は真心の園の医師当直室に泊まり込み九大に通学、九大第2生化学教室で大学院生として、活性酸素の研究をしていました。そして研究生生活の傍ら、中川原寿恵子初代理事長の右腕として、まごころ新聞を作ったり、寮母さんが作ってくれた夕飯を食べながら、職員と語り合っていたようです。

真心の園創設者、中川原寿恵子理事長が、昭和54年8月4日開設10周年を目前にして亡くなられ、その後は、主人の妹の慶子さんや中島一六氏など代々の園長が真心の園を守って下さいました。さらに、田代英太郎先生や伊東哲夫氏、羽立俊男氏など多くの方々のご支援と職員の真心愛のおかげで今日の椎原寿恵会が存在しているのです。私はそのことを常に身に染みて感じながら、地域の方々によって支えられた真心の園は、この地域のために役立ち、貢献できる施設でなければならないと強く思っていました。

私が本格的に真心の園に関わり、福祉の勉強を始めたのは平成6年に米国から帰国した後のことでした。小室ゼミや老社協の中の青年者協議会に参加しながら、日本の少子高齢化について勉強し、真心の園の将来について色々と思ひ悩む日々でした。そして、平成12年の介護保険制度開始とともに、国の制度設計に基づいた新しい施設やサービスが次々と始まり、休む間もなく働き続けて今に至っています。この間、未熟な私を導き、御支援いただきました全ての方々に心から感謝申し上げます。医療だけでは経験できなかった多くのことを、福祉の仕事を通じて学ばせていただきました。人の心の温かさや有難さを痛感して涙したことは数知れません。お陰様で私の人生は豊かで充実したものとなっています。本当に有り難うございました。

今回、社会福祉法人理事長のバトンを新理事長に手渡すことにより、椎原寿恵会は新しい時代を迎えることとなります。よりグローバルな視点で、より先進的な取り組みを進めていくことにより、職員の幸せと事業の健全化を目指していきます。

新理事長のもと、役職員、心一つにして前に進んで参りましょう!!

最後に、これまでお世話になりました多くの皆様に心からの感謝を捧げ、今後も変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。今後は会長として微力ながら少し離れたところで見守っていきたくて存じます。長い間、本当にありがとうございました。

社会福祉法人椎原寿恵会
前理事長 中川原 三和子



この度 6月末をもちまして、副理事長を辞任いたしました。在任中は大変お世話になりました。

振り返りますと平成25年から8年間、長いようであつという間の8年でした。介護のイロハがわからない中で、介護の専門用語もわからず、徳測さん(当時 施設長)に尋ねたり、本で調べたりと悪戦苦闘の連続でしたが、皆様のご協力により務めを果たすことができました。

さて、日本は少子高齢化で人口減少社会にまっしぐらに突き進んでおり、人口が増えていた「人口ボーナス期」と違い、人口が減少している「人口オーナス期」は社会の仕組み、価値観の違いが顕著に表れる時期になったと思います。在任中の8年間をみても就任時は4月になると新人の卒業生を迎えていたのが、3年前ぐらいから「介護学科は卒業しても他の業種に就職した」また学校を訪問すると「入学定員が充足できない」など新人の確保もままならなくなってきました。介護の需要はあっても人材不足で供給ができないなどのミスマッチが起きている状況で、人材が最大の経営資源である労働集約型産業は、運営の見直しを迫られ、よって全体の中の一部や個人だけが最適な状態を優先する「部分最適」から組織全体が最適な状態になることを重視する「全体最適」へ「ギアチェンジ」を求められており、佐賀・鹿児島一体となった運営がより求められる時代になってきたように思います。

新理事長のもと、椎原寿恵会の更なる発展と皆様のご健勝を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人椎原寿恵会
前副理事長 久保 健太



令和3年6月28日

理事長・副理事長退任および新理事長就任式典を行いました。



令和3年6月27日の理事会・評議員会において中川原三和子理事長と久保健太副理事長の退任、中川原章新理事長の就任が承認されたことに伴い、記念式典を佐賀事業部真心の園で行いました。



中川原三和子前理事長は昭和55年から旧真心の園 麓診療所に勤務され、その後法人の理事長として約40年にわたりご尽力頂きました。在任中に介護保険制度の開始や新しいサービスへの取り組み、真心の園新築移転など沢山の人の力を借りてここまでこれた、心より感謝しますと挨拶をされました。



久保健太前副理事長については平成25年から常勤の副理事長として長きに渡りご尽力頂きました。介護についての知識がなく、「オンコール」という言葉も知らなかった。沢山の職員と話をされ、本などで知識を増やし、ここまで来たとお話しされました。



その後、中川原章新理事長の就任挨拶があり、これから法人が目指す事、取り組む事として、「法人の歴史を大切にし、これからも前に進むこと」「人材育成に取り組む、働きやすい職場づくりを行うこと」「地域福祉の拠点として更なる努力を行うこと」「ICTの活用、システム化の構築」等をお話しされました。



式典の最後に、新理事長から退任される理事長、副理事長に対し記念品贈呈を行い、参加した職員全員で記念撮影を行いました。

